

## 《《中学校の部》》

### 「介護施設での出来事」

有田市立保田中学校 3年

御前<sup>みさき</sup> 友実<sup>ともみ</sup> さん

自転車をこいでいるうちに、胸がドキドキしてきた。どんな三日間になるのか、ワクワクしていたのだ。あつ、見えてきた。私がお世話になる、介護施設が。

昨年、私は授業の一環として、職場体験を行った。さまざまな職場体験先があるなかで、介護施設を選んだ理由が二つある。

一つは、少子高齢化が進んでいる今の時代に、若者に求められていることはなんなのか、知りたかったからだ。もう一つは、施設で働いている人が、どのような仕事をしているのか、興味があったからだ。この二点から、私は三日間で、特に前者の答えを知りたくて、介護施設を選んだ。だから、行けると決まった時、嬉しかったし、待ち遠しかった。

私が体験する介護施設は、グループホームとデイサービスがある。一日目と二日目はグループホーム、三日目はデイサービスでのお手伝いをするようになった。そこでの私は、驚きの連続だった。グループホームでも、デイサービスでも、利用する高齢者は、朝に体温と血圧を計って体調管理をしていた。グループホームでは、衛生面に気を付けて、週に一度シートを変えていた。さらに、グループホームでの高齢者は、食事の献立を考えたり、家事の手伝いをしたりと、とてもイキイキしていた。グループホームでの二日間は、とても貴重な時間だった。

しかし、楽しいことばかりではなかった。それは、体験一日目の昼、グループホームとデイサービスの高齢者が一緒になって、お祭りをした時だった。デイサービスでのおじいさんに食べ物を渡そうとしたら、

「いらん！あっち行け！」

と怖い目で見られてしまった。とてもびっくりしたし、おじいさんの機嫌を悪くしてしまったと思っ、その後、私はおじいさんに近づけなくなった。そんな自分が悔しかった。

三日目のデイサービスを手伝う日が来た。おとといのおじいさんもいた。おじいさんとは、距離をおいて過ごし、時間だけが進む。

三日間の感謝を込めて、私は帰る前にオカリナを演奏した。でも、堂々と演奏できなかった。終わると、みんな拍手してくれた。その中で、人一倍拍手してくれたのが、あのおじいさんだった。雨が降っていた私の心に、パツと虹が表れたようだった。まだ難しい顔をしていたけれど、私は深々と一礼した。

この体験を通して、私は、さまざまなことを考えさせられた。疑問に思っていたことの答えは、わかったような気がした。でも、まだはつきりと形にはなっていないから、今からでも少しずつ、答えを見つけていこうと思う。

中二の夏、あの三日間で一番大事なことを教えてくれたのは、私にとって、あのおじいさんでした。